

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年01月06日

計画の名称	羽島市における循環のみの実現(防災・安全)													
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当			
交付対象	羽島市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		436	A	434	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.45	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	R2	R4
1	地震発生時における交通機能確保を図るため、緊急輸送路・軌道上・避難所施設等から污水排水を受ける管渠の地震対策実施率を39.2%（H30末）から    100%（R4末）に増加させる。			
	短期整備に位置付けた緊急輸送路・軌道上・避難所施設等から污水排水を受ける管渠の地震対策実施率	39%	75%	100%
	緊急輸送路・軌道上・避難所施設等から污水排水を受ける管渠のうち、耐震化が行われている延長（m）/重要な管渠の延長（m）			
2	下水道処理場における長寿命化実施率を12.5%（H30末）から17.5%（R4末）に増加させる。			
	下水処理場における長寿命化実施率	12%	12%	17%
	長寿命化実施済みの施設（箇所）/長寿命化実施すべき施設数（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	羽島市	直接	羽島市	管渠（ 汚水）	改築	羽島西汚水幹線他枝線（ 地震対策）	マンホール浮上対策	羽島市						11	-	策定済	
	A07-002	下水道	一般	羽島市	直接	羽島市	-	-	効率的な事業実施のため の検討	検討資料作成 1 式	羽島市						0	-	-	
	A07-003	下水道	一般	羽島市	直接	羽島市	終末処 理場	改築	浄化センター処理施設改 築	改築対象工事	羽島市						198	-	策定済	
	A07-004	下水道	一般	羽島市	直接	羽島市	-	-	ストックマネジメント計 画策定	計画・調査・設計	羽島市						46	-	-	
	A07-006	下水道	一般	羽島市	直接	羽島市	終末処 理場	改築	浄化センター処理施設耐 震化	耐震診断・設計・耐震化工事	羽島市						179	-	策定済	
												小計						434		
											合計						434			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	羽島市	直接	羽島市	ポンプ 場	-	停電時応急対応資機材整 備	発電機	羽島市						2	-	-	
		停電時により長時間マンホールポンプが稼働できない場合においても、その機能を確保することができる。																		
												小計						2		
											合計						2			

## 事後評価

### 事後評価の実施体制、実施時期

#### 事後評価の実施体制

羽島市事業実施担当部局（上下水道部工務課）において目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施

#### 事後評価の実施時期

令和7年12月

#### 公表の方法

市ホームページに掲載

### 事業効果の発現状況

#### 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- ・地震対策の実施により、地震における重要な管渠の安全性が向上した。
- ・長寿命化対策の実施により、処理施設の機能を確保した。

#### 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）

### 特記事項（今後の方針等）

引き続き早期に事業効果が発現できる箇所について、計画的に下水道整備を進めていき、安全・安心、快適なまちづくりを推進する。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	100%	処理場の長寿命化対策を優先して行ったことにより、当初計画で想定していた事業進捗に遅れが生じたため。
	最 終 実績値	42%	
2	最 終 目標値	17%	平成 2 7 年度の長寿命化計画策定後、更新事業はストックマネジメント計画へ移行となった。令和元年にストックマネジメント計画を策定したところ、平成 2 7 年時と比較し劣化設備が増加したことにより、当初目標値を超過し更新事業を実施したため。
	最 終 実績値	47%	